

## 令和8年度 入学式 式辞

新入生の皆さん、ならびに保護者の皆様、本日はご入学、誠にありがとうございます。

本日、64名の新入生を本校にお迎えできますことを、教職員・在校生一同、心より歓迎申し上げます。

さて、新しい環境に身を置くとき、人は少なからず不安を覚えるものです。「うまくやっていけるだろうか」と感じている方もおられるでしょう。

ですが、どうぞご安心ください。そのように感じているのは、決してあなただけではありません。むしろ、それは新たな一步を踏み出した証であり、ごく自然な心の動きであります。

中には、「本当にこの道でよかったのだろうか」と思う方もいるかもしれませんが、しかし、本日ここに集われた皆さんは、自らの意思で医療の道を志し、その第一歩を確かに踏み出されました。その決断そのものが、すでに大きな価値を持つものであります。どうかまずは、その自分自身を認め、ねぎらっていただきたいと思えます。

これからの学びにおいて大切なのは、「どれだけ学んだか」という量ではなく、「学びを通して何ができるようになったか」という質への意識であります。知識は手段であり、それをもとに人の役に立てる力へと昇華させていくことが、皆さんに求められます。

そして、本校が目指すのは、「人にやさしく、仕事がきちんとできる医療人」の育成です。言葉にすれば簡潔ですが、その実現には日々の地道な努力と、確かな志が必要となります。

ここで、校長として二つお願いを申し上げます。

第一に、「わからないことを決して放置しないこと」です。「あとでやろう」は、多くの場合「そのまま」になりがちです。

「まあいいか」という小さな妥協が、やがて大きな差となって現れます。疑問は、その場で解決する習慣を身につけてください。

本校では、質問を歓迎いたします。どれほど尋ねていただいても、追加料金はいただきません。むしろ、時には教員から温かい励ましや差し入れがあるかもしれません。ただし、学則にある通り、再試験には所定の費用が伴いますので、その点だけご注意ください。

第二に、「仲間を大切にすること」です。

学びの過程では、「自分には向いていないのではないか」と感じる瞬間が訪れることもあるでしょう。しかし、その時点で適性の有無を断定できる人は誰一人としておりません。悩みとは、真剣に向き合っている証であり、成長の前触れでもあります。一人で抱え込めば不安は大きくなりますが、信頼できる仲間と分かち合えば、その重さは和らぎます。時に笑いへと変わることもさへあります。

「あくがれ（憧れ）を知る者のみぞ、わが悩みを知らむ！」というように、理想を持つからこそ人は悩み、そして成長していくのです。

やがて皆さんは、「昨日よりもわずかに成長した自分」に気づくことでしょう。医療人としての成長は、この「わずかな前進」の積み重ねによって築かれます。華やかさはなくとも、最も確実に尊い歩みであります。

私たち教職員は、皆さん一人ひとりの成長を全力で支えてまいります。どうぞ遠慮なく頼ってください。むしろ、遠慮されますと、私たちの方が少々寂しく感じてしまうかもしれません。

結びに、保護者の皆様に申し上げます。本日入学した全ての学生が、それぞれ確かな専門性と豊かな人間性を身につけ、社会に羽ばたいていけるよう、教職員一同、責任をもって教育にあたってまいります。

今後ともご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後に一言申し添えます。皆さんはこれから、人の健康と人生に深く関わる職業を目指します。そのためには、まず自分自身の心身を大切にすることが不可欠です。十分な睡眠をとること。それもまた、医療人としての大切な第一歩であることを、どうか忘れないでください。

以上をもちまして、式辞といたします。

令和8年4月6日

学校法人稲積学園 北都保健福祉専門

学校長 林 要喜知



令和8年度 理学療法学科入学生（第32回生）の笑顔



令和8年度 看護学科入学生（第19回生）の笑顔



令和8年度 新入生・保護者の皆様へ

## 校長 林 要喜知

医療職を目指して本校へ入学された新入生の皆さん、そして保護者の皆様、誠におめでとうございます。本校で新たな学びを始められることを、心よりお祝い申し上げます。

本校は比較的小規模な専門学校です。その分、学生と教職員の距離が近く、学びを進める上でのメリットがたくさんあります。例えば、わからないことがあれば、いつでも質問が可能です。教室や廊下、教職員室などはもちろん、「学びのポット（看護学科2階にある学生向けのスペース）」でも遠慮なく声をかけてください。

質問することは、単に疑問を解決するだけでなく、次のステップへのハードルを下げることにも繋がります。逆に、疑問を放置してしまうと、次の段階がどんどん難しくなり、学びが停滞してしまいます。

ですから、ぜひ「質問魔」になって、いつでもどこでも質問をしてください。その姿勢が、次第に「自ら学び、解決する力」へと変わっていきます。皆さんがそのような積極的な学びを実践されることを、心から願っております。

## 副校長 澤田 みどり

新入生の皆様、新入生保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。

北都保健福祉専門学校は、教員はじめ職員全員で皆様の入学をお待ちしていました。

小さくとも暖かい、アットホームな中での学び、成長を全力で支え、応援いたします。

4月6日の入学式で皆さんにお会いできることを心待ちにしております。

## 理学療法学科 学科長 吉田 幸史

ご入学おめでとうございます。

大いなる希望と期待を胸に当校に入学されたと思われませう。

皆さんがこれから進む世界は、医療という他人の健康や福祉にかかわる仕事です。その為には多くの知識が必要ですし、援助するための技術も大切です。皆さんは在学中に『こんなにも勉強しないといけないの？』や『もうやめたい』と思うこともあるでしょう。

しかし、初心を思い出して皆さんの夢を現実にしてください。

また、他人の健康を援助するためには自分も健康でなくてはなりません、規則正しく有意義な学生生活を過ごしてください。

## 作業療法学科 学科長 川上 和敏

「令和8年度新入生の成長のために必要なこと」

北都へのご入学おめでとうございます。専門学校という場所は、医療職として必要な知識や技術だけでなく人間性も磨く場所です。社会人としての責任感や行動力を養う場所でもあります。そのためには、まず「学ぶこと」が大切です。しかし「学ぶこと」のみだと、謙虚さや協調性は身に付きませんが、人の意見に流されやすく、言われたことしかしないという受動的な態度に陥りやすくなります。

よって「自分でよく考えてみること」が大切です。反対に「自身で考え込む」だけでは、主体性は育ちますが、狭い見方で物事を判断し、思いつきや思い込みといった自己中心的な態度に陥りやすくなります。よって「広く学ぶこと」が大切です。「学ぶこと」と「考えること」はどちらも必要です。どちらか一方に偏らないように注意してください。

近年は人工知能で簡単に答えが得られてしまう世の中です。自身が成長するためには、時に非効率で面倒なことに取り組むことや挑戦すること、試行錯誤することが不可欠です。皆さんの成長を応援します。

## 看護学科 学科長 鳴海 繭花

看護師としての第一歩を踏み出したみなさん、本当におめでとうございます。

新しい環境にはワクワクやドキドキ、楽しみや不安もあるかもしれませんが、私たちはいつでも皆さんの味方です。失敗を恐れず、患者さんや仲間との出会いを大切にしながら、一歩ずつ成長していきましょう。

そして、ご家族・保護者の皆さま、これまでの温かい支えに感謝申し上げますとともに、これからも変わらぬ見守りと励ましをお願いいたします。